

令和5年度子どもの貧困対策に関する職員研修実施報告及び令和6年度職員研修について

**【令和5年度子どもの貧困対策に関する職員研修実施報告】****~~~~<第1部> 講演~~~~****◆社会全体の概要を知る（15分）：小田川先生**

- ・ 国が示す子どもの貧困対策政策と基礎自治体の責務
- ・ 相対的貧困への注目
- ・ 国による「低所得」対策が不十分ななか基礎自治体が貧困対策
- ・ 困窮世帯の子どもを取り残さない「こどもまんなか」社会づくりを基礎自治体で

**◆日野市の現状を知る（15分）：セーフティネットコールセンター 地下副主幹**

- ・ 日野市の子どもを取り巻く現状
- ・ 日野市における子どもの貧困の重要課題
- ・ 目指すべき姿と基本的な方向性について
- ・ 市民主体及び市の取組み

**◆現場のリアルを知る（30分）：ほっとも高幡 阿部様、伊藤様**

- ・ 「ほっとも高幡」について
- ・ 1日のタイムスケジュール
- ・ どのような背景の子どもたちが来ているのか？
- ・ 現代の子どもたちが抱える困難や直面している課題は？
- ・ どういった支援が子どもたちに求められているのか？
- ・ 「ほっとも高幡」で印象に残ったエピソード
- ・ 日野市並びに職員に求めること

**~~~~<第2部> グループディスカッション~~~~****◆自己紹介（5分）**

- ・ 無作為に座ってもらった各グループ内(5~6人)で自己紹介と、  
①1部講演を聞いて感じたことを発表。

**◆グループディスカッション（30分）**

- ・ ディスカッションテーマは②子供のために必要なこと。③自課でできそうなこと。  
④市として取り組めること。の3項目について話し合い、ワークシートにまとめてもらった。
- ・ 小田川先生より2グループ指名の上、発表してもらった。

**~~~~<第3部> 講演~~~~****◆まとめの講演（15分）：小田川先生**

- ・ 第2部の発表に対する講評
- ・ 社会的養護に繋がることを未然に予防するためにできること

## 令和5年度子どもの貧困対策に関する職員研修実施報告及び令和6年度職員研修について

## 【概要】

実施日時：令和5年12月7日(木) 午前10時～12時

会場：日野市役所本庁舎 505会議室

参加者：各課より事前に選出・申請を出してもらい、当日は51名参加

目的：講演の内容を基に自ら考えることで、各職員が子どもの貧困対策について当事者意識を持つこと。また、他課職員とのグループディスカッションを通して連携意識を持つこと。

## 【主な変更点、実施内容等】

- ・令和2年度以降感染症対策に伴いオンライン開催であった為、約4年ぶりの集合型研修となった。
- ・例年は講演のみであったが、本研修ではグループディスカッションの時間を設けた。  
→座席も最初から最後までグループの形で実施し、お互いの顔が見えることで連携意識の向上を図った。



←過去開催時

本年度開催時→



- ・参加者に事前に業務内容を提出してもらい、当日業務内容を入力した名札を配布。〈資料1-2〉  
→グループ内で普段の業務を共有することで、自己紹介のみではなくディスカッションの際の材料として使える様に実施した(この業務内容であればこういった取組ができるのではないか?等)
- ・ディスカッションでは、自身の課でできそうなことに加え市として取り組めることを話し合ってもらった。  
→他課の職員と話し合う事で、今はできることが無いとしても、異動等により子どもの貧困対策に携わる可能性があることを意識してもらうことが狙い。
- ・話し合いの結果をワークシートにまとめて、2グループより発表してもらった。〈資料1-3〉
- ・研修終了後に参加者へアンケートを実施。※内容を一部抜粋して後述  
→その際に現場見学ツアーとして「ほっとも高幡」、市内無料塾である「すみれ塾」の見学の希望を募ったところ、ほっとも高幡13名、すみれ塾8名の応募があった。実際の見学に関しては人数の都合で回を分けての開催になる為現在日程調整中。
- ・講演部分については動画を撮影しており、全庁に向けて配信予定。  
→配信の際には本研修に参加していない方を対象として、再度現場見学ツアーの募集も行う予定。

令和5年度子どもの貧困対策に関する職員研修実施報告及び令和6年度職員研修について

## 【アンケート結果まとめと内容一部抜粋】

### Q1.研修の時間

長い(6人)・ちょうど良い(45人)・短い(0人)

### Q2.研修の内容

とてもよかった(19人)・よかった(28人)・ふつう(4人)・あまりよくなかった(0人)・よくなかった(0人)

### Q3.研修の実施時期(12月7日開催に対して)

ちょうど良い(43人)・早い(0人)・遅い(8人)

### Q4. Q3で「早い」「遅い」と回答した方の希望時期※複数回答あり

4月(2人)・5月(2人)・6月(3人)・7月(3人)・8月(1人)・9月(1人)・10月(2人)・11月(2人)・1月(1人)

### Q5.今後、「子どもの貧困」について研修で聞いてみたいことや知りたいことをお聞かせください。

- ・日野市(各課、学校、保育園等)の取組み内容を知りたい。
- ・日野市のサービス、繋ぎ先等の一覧表のようなものがあるとよい。(庁内向け、市民向け)
- ・他自治体の取組みについてもっと知りたい
- ・(ほっとものみに限らず)実際の現場の声や事例をもっと多く聞きたい

### Q6.子どもの貧困について、ご自身の持ち場でどんなことができると思いますか。

- ・食育支援。自分で最低限の食事が作れるようにするための支援や、食材や調理器具が貧困家庭にも届くような仕組みを作っていきたい。
- ・貧困家庭に対して親が就労できるように、保育園入園措置の優遇等の検討。
- ・図書館利用、学習スペース、おはなし会等のPR。リサイクル資料の希望聞き取り。
- ・保護者の事情に関係なく子ども自身で見たり、参加できるようにイベントの周知、募集を行う。
- ・病院受診の時に異変に早期に気付くなど、子供の様子や親御さんが困っていないかなどに目や耳を傾ける。
- ・空き家を居場所としての活用。
- ・スクールカウンセラーを効果的に使えるような仕組みづくり。

### Q7.今回の研修についての感想をお聞かせください。

- ・対面形式の研修がより有効だと実感しました。
- ・研修以外でも庁内掲示板等で可能な限り情報を発信してほしい。
- ・研究者、行政、現場と三者からの講演はとてもわかりやすく有意義でした。
- ・学校や家庭の中での悩みを抱える子どもにも親にも情報を提供する手段については検討の余地があると感じた。

## 令和5年度子どもの貧困対策に関する職員研修実施報告及び令和6年度職員研修について

- ・ 見えない貧困が日野市でもたくさんあるという事実を知り、少しでも力になれるよう今の職場でできることをしたいと思います。
- ・ 「子供の貧困」に関する日野市の取組が知られていないと感じ、庁内の連携を深めるためにはまず庁内に周知が必要だと感じました。

**Q8.現場見学ツアーについて：前述の通り****【令和6年度職員研修について】（協議）**

- ・ アンケート結果を踏まえ、令和6年度については時期を早めることも検討中。  
※議会期間や選挙等の時期を避ける。
- ・ 開催方法は本年度と同様に集合型で、グループディスカッションも継続予定。  
テーマ・内容についての詳細は現段階では未定だが、参加者に当事者意識を持たせられるような内容にする。
- ・ 研修時に現場見学ツアーの案内も継続予定で、今回実施のほっとも高幡、すみれ塾以外の見学も検討中。（他のほっともや、他の無料塾、子ども食堂等）
- ・ 講義部分は事前に収録したものを現地で流しつつ、補足をするようなハイブリッド方式も検討。

その他ご意見等いただけますと幸いです。